



# あきた市議会だより

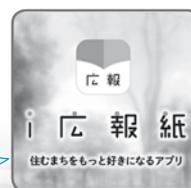
No.163

平成28年  
8月19日

6月定例会の概要 ..... P 2  
 新議場で初の定例会 ..... P 3  
 議案等に対する会派別の表決状況 ..... P 3～4  
 一般質問 ..... P 5～9  
 平成27年度政務活動費科目別収支状況 ..... P 9  
 常任委員会・分科会の審査から ..... P 10  
 9月定例会のお知らせ（予定） ..... P 10

スマートフォンやタブレット向けの無料アプリ「i 広報紙」であきた市議会だよりの配信を開始しました。専用アプリをダウンロードしてご利用ください。

※「i 広報紙」  
公式ホームページ  
<http://ikouhoushi.jp/>



# 6月定例会の概要

6月9日～7月1日

6月定例会では、秋田市旅館業法施行条例の一部を改正する件などの条例案8件、予算案5件、単行案12件をすべて可決・承認しました。また、陳情2件を採択し、議員提出による意見書案1件を可決したほか、人事案2件に同意しました。

## ● 予算

### ● 秋田市農業ブランド確立事業

地域産業の活性化を図るため、地元産品を活用した本市農業ブランドを確立します。

- ・ 総合的な戦略づくり（ブランド確立による知名度アップと販路拡大等）
- ・ 首都圏等におけるプロモーション活動
- ・ えだまめを用いた商品開発等
- ・ 地場産品食材加工施設整備のための市場調査

4千198万6千円

### ● 保育士人材確保推進事業

保育士不足の解消を図るため、保育士人材バンクを創設し、保育施設における受け入れ枠の拡大を図ります。

- ・ 人材バンクへの登録、登録者への求人情報の提供等
- ・ 就職相談会等の開催、保育士等の就労支援を業務委託

385万7千円



### ● 秋田市観光振興協働交付金

秋田空港到着口の案内所を7月から観光案内所として機能拡大することから、（公財）秋田観光コンベンション協会に対する秋田市観光振興協働交付金を増額します。

- ・ （公財）秋田観光コンベンション協会職員の（英語対応）を1名増員

193万7千円



秋田空港

### ● 学校給食費システム導入経費

学校給食費の公会計化に当たり、学校給食費の収納管理を行うためのシステムを導入します。

契約期間 28年度から33年度まで

業務内容 ハードウェア・ソフトウェアの調達、システムの開発・導入・運用、関係システムとのデータ連携等

債務負担行為 971万6千円

## ● 条例

### ● 秋田市旅館業法施行条例の一部を改正

旅館業法施行令の一部改正に伴い、簡易宿所営業の客室の収容定員の基準を改めるため、改正しました。

- ・ 簡易宿所営業の宿泊者数が10人未満である施設に係る客室の収容定員の基準を、有効床面積3.3平方メートルにつき1人と定めます。

施行期日 公布の日から

## ● 単行案

### ● 土崎まちづくり拠点施設建築工事請負契約を締結する件

工事場所 土崎港西三丁目148番

契約金額 5億9千238万円

契約先 林・藤重・小南建設工事共同企業体



土崎まちづくり拠点施設 (完成予想図)

### ● 新屋まちづくり拠点施設建築工事請負契約を締結する件

工事場所 新屋表町104番4

契約金額 6億4千800万円

契約先 瀬下・中山・栗野建設工事共同企業体



新屋まちづくり拠点施設 (完成予想図)

## ● 人事

### ● 固定資産評価員

柿崎 武彦氏(新任)

### ● 人権擁護委員

長谷部 正直氏(再任)

# 新議場で初の定例会を開催しました

5月6日に開庁した新庁舎の議場において、初の定例会となる平成28年6月定例会を開催しました。

開会日（6月9日）冒頭において、渡辺正宏議長から「新議場を舞台に本市の未来について論じ合うことによって、市民福祉の増進や地域経済の活性化、そして元気な秋田市づくりのための、多くの施策が生み出されていくものと考えている。これまで本議会の諸先輩が築き上げてこられた伝統の上に新たな歴史を刻みながら、心新たに、公正で民主的な市政の発展のために力の限りを尽くしてまいりたい」とのあいさつがあり、秋田市議会の新たな歴史の1ページが開かれました。



新議場における本会議の様子

新議場の傍聴席は、議員席との高低差をできるだけなくし、また、議員席を囲むように設置したことにより、本会議の臨場感が伝わりやすい構造になっています。  
さらに、議場内の大型モニター（4台）に、発言者等の映像を映すなど、傍聴者が見やすい環境を整えています。

本会議の様子は、新庁舎1階にある「市民の座」の大型画面において、秋田ケーブルテレビにより生中継で放映されています。

新議場は、秋田杉をふんだんに使用した、木肌の柔らかさが感じられる空間となっていますので、この機会にぜひ議会の傍聴におこしてください。

傍聴については議会事務局議事課（888-5784）にお問い合わせください。次回9月定例会の日程は10ページに記載しています。



新庁舎1階大型画面での本会議放映の様子

## 議案に対する会派別の表決状況

### 6月定例会の結果

( )内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

件名		秋水会 (15)	そうせ (6)	市民ク (4)	公明党 (4)	フロ秋 (4)	社・市 (3)	共産党 (2)	議長※	議結	決果
市長提出	◆ 手動式移動仮設席を買い入れる件	○	○	○	○	○	○	×	—		
	◆ 秋田市市税条例等の一部を改正する件										
	◆ 秋田市スポーツ施設条例の一部を改正する件										
	◆ 秋田市児童福祉施設の設備および運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する件										
	◆ 秋田市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件										
	◆ 秋田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例および秋田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備および運営ならびに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	—		可決
	◆ 秋田市旅館業法施行条例の一部を改正する件										
◆ 秋田市河辺岩見温泉条例を廃止する件											
◆ 秋田市公民館設置条例の一部を改正する件											

←4ページに続きます

# 議案、請願・陳情に対する会派別の表決状況

## 6月定例会の結果

( )内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

件名		秋水会 (15)	そうせ (6)	市民ク (4)	公明党 (4)	フロ秋 (4)	社・市 (3)	共産党 (2)	議長 ※	議結	決果	
市長提出	◆ 秋田市市税条例の一部を改正する専決処分について承認を求める件 ◆ 秋田市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成および活性化に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する専決処分について承認を求める件	○	○	○	○	○	○	○	—	承	認	
	◆ 秋田市国民健康保険税条例の一部を改正する専決処分について承認を求める件	○	○	○	○	03 x1	○	○	—			
	◆ 秋田市土地開発公社を解散する件 ◆ 秋田市河辺岩見温泉交流センターの指定管理者を指定する件 ◆ 市道路線を認定する件 ◆ 土崎まちづくり拠点施設建築工事請負契約を締結する件 ◆ 新屋まちづくり拠点施設建築工事請負契約を締結する件 ◆ 水槽付消防ポンプ自動車を買入れる件 ◆ 大型化学高所放水車を買入れる件 ◆ 土地を買入れる件	○	○	○	○	○	○	○	—	可	決	
	◆ 平成28年度秋田市一般会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	×	—			
	◆ 平成28年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	○	—			
	◆ 平成28年度秋田市国民健康保険事業会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	×	—			
	◆ 平成28年度秋田市介護保険事業会計補正予算（第1号）の件 ◆ 平成28年度秋田市一般会計補正予算（第2号）の件	○	○	○	○	○	○	○	—			
	◆ 秋田市固定資産評価員の選任について同意を求める件 ◆ 人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件	○	○	○	○	○	○	○	—	同	意	
	◆ 子供の医療費助成に係る国民健康保険の療養費等国庫負担金減額調整措置の廃止に関する意見書提出の件	○	○	○	×	○	○	○	—	可	決	
	◆ 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1の復元に関する意見書提出の件	×	○	○	×	○	○	○	×	否	決	
請願	◆ 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1の復元に関する意見書の提出について	×	○	○	×	○	○	×	不	採	択	
陳情	◆ 中高一貫教育校としての御所野学院の存続について	○	○	○	○	○	○	○	—	採	択	
	◆ 家庭ごみ有料化の廃止について	×	×	×	×	01 x3	×	○	—	不	採	択
	◆ 子供の医療費助成に係る国民健康保険の療養費等国庫負担金減額調整措置の廃止に関する意見書の提出について	○	○	○	×	○	○	○	—	採	択	
	◆ 家庭ごみ有料化に関する諸問題の見直しについて	(1項)	×	05 x1	×	×	○	×	○	—	不	採
		(2項)	×	05 x1	×	×	○	02 x1	○	—		
		(3項)	×	×	×	×	○	○	○	—		
		(4項)	×	02 x4	×	×	○	○	○	—		
◆ 要介護1、2の高齢者に対する訪問介護の生活援助サービスの削減及び要介護2以下の高齢者に対する福祉用具貸与制度の廃止反対に関する意見書の提出について	×	04 x2	×	×	○	○	○	—				
◆ 安全保障関連法の廃止と立憲主義の回復に関する意見書の提出について	×	03 x3	×	×	○	○	○	—				

★会派内で賛否が分かれた場合、賛成（○）と反対（×）の人数を数字で掲載しています。

※議長の賛否は、可否同数につき、議長裁決を行った場合のみ掲載しています。

★略記している会派の名称

「そうせ」はそうせい、「市民ク」は市民クラブ、「公明党」は公明党秋田市議会、「フロ秋」はフロンティア秋田、「社・市」は社会・市民連合、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団

### 意見書を提出しました

秋田市議会の意見として、次の意見書を国会および関係行政庁に提出しました。

○子供の医療費助成に係る国民健康保険の療養費等国庫負担金減額調整措置の廃止に関する意見書

★各議員の表決状況は市議会ホームページで公開しています。

# 一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

秋水会  
鎌田修悦

◇秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略等◇人口減少が将来の本市行政に与える影響◇教育行政◇社会保障・税番号制度等◇過疎地域の自立促進◇障害者就労施設等からの物品等の調達の推進◇大森山動物園の運営◇受動喫煙の防止◇財政◇日本版C R C構造◇市長の政治姿勢

## ふるさと納税

**問** 寄附金の総額から諸経費と税額控除分を差し引いた寄附の状況はどうですか。また、その状況を踏まえ、今後の本市におけるふるさと納税をどのように考えていますか。

**答** 平成27年度歳入におけるふるさと納税の総額は1億7千45万円です。一方、謝礼品代等の諸経費は6千945万円、また、平成27年中に寄附に対応した本市の個人市民税の税額控除は7千660万円であり、寄附金総額からこれらを差し引くと2千440万円となります。引き続き、本市ふるさと納税をPRし、一層の寄附拡大を

図るとともに、特産品の販路拡大や交流人口の拡大を図り、経済の活性化へつなげたいと考えています。

## 県・市連携文化施設

**問** 現県民会館所在地を建設候補地としている県・市連携文化施設整備は、駐車場問題が浮上しています。また、同所在地を建設地と決定する意思はありますか。

**答** 建設候補地は、県民・市民との意見交換等を踏まえて、十分な広さの用地確保や交通アクセスの容易性、宿泊施設等の周辺環境などを勘案し、県とともに現県民会館所在地としたものです。当該地は商店街にも近く既存文化施設と連動させることで、周辺を「芸術文化ゾーン」として充実させることが可能となり、中心市街地の活性化にもつながると判断しました。こうした経緯を踏まえ、整備計画において施設規模等を具体化し、駐車場のあり方も明らかにした上で、議会や市民の理解を得ながら建設地として確定したいと考えています。

そうせい  
齊藤 勝

◇災害対策◇施設名の命名◇観光行政◇「秋田北／農／工／商共存型まちづくり構想」◇人口減少対策◇小中学校の適正配置◇野良猫問題

## 災害対策

**問** 避難所として近くの公施設を一時的に利用する可能性が高いと思われるが、その際の物資等の供給についてどのような対応を考えていますか。また、そのおのの二ーズの把握はどのように行いますか。

**答** 指定避難所以外の地域の公民館等への避難者については、行政の活動だけでなく、必要物資を供給することは難しいため秋田市地域防災計画において、避難者自らが近隣の指定避難所等へ状況を報告していただくことで、物資の配給や要望を把握することとしています。そのため、避難者自らが報告者としての自覚を持つよう、地域の防災訓練や自主防災リーダー研修などを通じて市民への周知を図っていきます。

「秋田北／農／工／商共存型まちづくり構想」

**問** 同構想に関して、市民の意見を聞く場を設け、再検証するべきではありませんか。

**答** 同構想については、昨年6月定例会で採択された陳情の趣旨を踏まえ、「当該構想が地方創生に合致し、本市の将来的な発展に寄与するものであるか」を検証したものです。検証では、当該構想の開発予定地は、市街化調整区域で開発行為が認められないものであり、本市のまちづくりの方向性とは相いれないことに加え、交流人口や雇用、税収など多面的な視点から、現時点では、本市の将来的な発展に寄与するものとは言えないと判断したものです。このような中、民間事業者の構想について、実施主体ではない本市が、市民の意見を聞くことや、市民・民間企業を交えた勉強会等を開催する考えはありません。



## ◆請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに議長あてに提出してください。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話（888）5784

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

市民クラブ  
見上 万里子

◇歴代市長の思いから続く市政の今後の方向性◇新庁舎の開庁に伴う新たな市民サービス等◇県・市連携文化施設の整備◇地域防災への取り組み◇園芸作物の重点品目◇本市の景観向上◇親しみやすい選挙への取り組み◇子供たちにもづくりの楽しさを伝える取り組み◇指定管理者制度◇高齢者の自動車運転

スポーツ施設の再整備

**問** プロスポーツが活発になることにより、市民のスポーツ活動が影響を受けることがないよう、スポーツ施設の再整備が必要ではありませんか。

**答** 新たな施設整備については、平成24年度に定めたスポーツ施設の整備方針に基づき、当面は既存施設の機能向上や改修等を基本とした整備を進めることとしています。今後のプロスポーツの動向を見極め、本市のスポーツ環境に大きな変化が想定される場合は、県などと協議・検討すべきものと考えています。



スポーツ施設  
CNAアリーナ★あきた(市立体育館)

県・市連携文化施設

**問** 同施設の駐車場確保の手法の一つとして、秋田駅東口周辺の駐車場との連携を検討してはどうですか。

**答** 民間駐車場との連携は同施設の駐車場確保の一つとして、現在、県と検討を進めています。既存の民間駐車場の活用は、利用者が集中する特定の時間帯に、利用される駐車場が分散されることから、渋滞の緩和にもつながると考えています。今後、ナビゲーションシステムの提供など、駐車場アクセスにかかる総合的な利便性の確保を考えており、連携する民間駐車場については、広い範囲で駐車場を確保する観点から秋田駅東口周辺も含めて検討していきます。

フロンティア秋田  
小林 一夫

◇市長の政治姿勢◇地方創生推進交付金◇県・市連携文化施設整備方針等◇秋田市中心市街地活性化基本計画◇秋田市公共交通政策ビジョン◇平成27年度包括外部監査報告書◇PCB廃棄物◇秋田市TTP農業関連対策基本方針◇御所野学院

御所野学院

**問** 御所野学院中学校の入学や学院高校への進学者が減少している要因は何ですか。

**答** 同学院中学校の入学者減少については、地元の御所野小学校の児童数が減少していることや、御所野地区以外から入学を希望する生徒が減少していることが要因と考えています。また、学院高校への進学者については、専門高校への進路変更や部活動などを理由に他の高校へ進学する生徒が毎年一定数いるため、結果として学院高校への進学者の減少を招いたものと考えられています。

高齢者コインバス

**問** 高齢者コインバスについては対象年齢を65歳まで引き下げるとともに、資格証明書のサイズを小型化するべきではありませんか。

**答** 高齢者コインバス事業は、高齢者の外出を促進し、社会参加や生きがいづくりの支援につながる事業であることから、秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点プロジェクトの一つとして位置付け、平成31年度までの計画期間内に現在の68歳から、さらに対象年齢を引き下げることとしています。引き下げの具体的な時期や対象年齢についてはバス事業者と協議を行いながら、実施に向けた検討を鋭意進めていきます。併せて、利用者からの要望が増えてきている資格証明書のサイズの小型化についても検討していきます。



◆本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ(デジタル102ch)と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

9月定例会の本会議は、9月2日、13日、14日、15日、28日、10月7日に開催予定です。

# 一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

社会・市民連合  
藤枝隆博

◇市長の政治姿勢◇新庁舎におけるサービス向上の取り組みと改善点◇県・市連携文化施設等◇中心市街地の活性化◇地域づくり交付金◇災害に強いまちづくり◇スポーツ振興◇秋田商業高校◇西部地域の振興とまちづくり

## 安全保障関連法

**問** 本土最後の空襲被爆地、また、「非核平和宣言都市」の市長として、このたびのオバマ大統領の広島訪問をどのように受け止め、平和の実現に向けてどのように考えていますか。

**答** 米国の現職大統領が初めて被爆地広島を訪問し、核兵器のない世界の実現に向け決意を表明された意義は非常に大きく、核廃絶や平和意識の機運がこれまで以上に高まる契機になったものにとらえています。本市においても、土崎空襲の記憶を風化させないよう、引き続き、被爆体験を伺う講演会を開催するほか（仮称）土崎みなと歴史館の活用などを通して、次世代に

戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えていくことが責務であると考えています。

## 新屋のまちづくり

**問** 新屋まちづくり拠点施設と秋田公立美術大学の連携により多彩なイベントを開催するなど、回遊性を高めた町づくりを進める考えはありませんか。

**答** 同施設の整備に当たっては、基本構想および基本計画において、同大学との連携による町づくりを掲げ取り組んでいます。同施設については、町の散策・回遊性を考慮した配置とし、新屋の歴史ある町並みや点在するわき水等の地域資源を巡る町あるきの拠点になるものと考えています。今後、地域住民主体の催し物や美大生によるイベントと連携を図るとともに、新屋に多くの人を呼び込み、回遊性をもたらし魅力ある町づくりを進めていきます。



長寿の泉

日本共産党秋田市議会議員団  
佐藤純子

◇市長の政治姿勢◇災害に強いまちづくり◇子供の貧困対策◇高齢者の生きがいづくり◇文化振興◇生活環境の保全◇地域の諸課題

## 芸術・文化

**問** 秋田民謡・民舞を観光資源として活用するべきではありませんか。

**答** 秋田らしい第一印象を醸し出すおもてなしとして、JR秋田駅では新幹線到着後の中央改札口において、秋田港ではクルーズ船寄港時において、民謡・民舞を披露しているほか、コンベンション開催時の歓迎アトラクションとしても活用されています。また、先般開催された食と芸能大祭典では、県内のさまざまな民謡・民舞が披露され好評を得たことから、改めて本県の観光資源としてのポテンシャルを認識したところであり、今後も引き続き、関係団体と連携し民謡王国秋田の発信に努めていきます。

## 高齢者の生きがいづくり

**問** 老人の憩いの場を充実させるために、老人いこいの家の改修を行うべきではありませんか。

**答** 老人いこいの家は、設置から40年を超え、施設等の老朽化により維持管理費が増加しています。また、開館当時に比べ、公共施設や民間施設等が充実しており、老人いこいの家を取り巻く環境が大きく変化しているほか、高齢者の価値観が多様化し、多くの高齢者ニーズには対応できていないなど、高齢者施策としての有効性は低下しているにとらえています。本市では、次期指定管理期間を平成29年度から3年間とし、期間中は大規模な改修等は行わず、現行施設をそのまま継続利用することを基本に考えています。



八橋老人いこいの家

## ◆本会議の傍聴について

本会議は、ケーブルテレビで生中継、インターネットで生中継および録画配信しております。傍聴されている方も映る場合がありますのであらかじめご了承ください。

議場には、磁気ループシステムを設置しています。補聴器をお使いの場合は“T”モードに切り換えてください。また、専用受信機も用意していますので、希望される方は傍聴受付にお申し出ください。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

秋水会  
田中 勉

◇新・県都『あきた』成長プランの成長戦略◇「秋田北ノ農ノ工ノ商共存型まちづくり構想」◇高齢者福祉と医療◇障がい者福祉と医療◇高齢者コミュニティ活動創出・支援事業の取り組み状況と今後の展開◇第2次秋田市公共交通政策ビジョン◇再生可能エネルギー◇災害時のマンパワーの確保と情報の収集・伝達◇中央市民サービスセンターと市民交流サロン

障がい者差別の解消

**問** ことし4月の障害者差別解消法の施行を受け、障がい者差別解消に関する条例の設定や市職員の対応要領の策定を行う考えはありますか。

**答** 本市独自の条例設定は、同法との関係や規定する内容を十分精査する必要があるので、今後研究していきます。また、市職員の対応要領については、国や県が定めた対応要領等を参考にしながら現在作業中であり、本年度中に策定し、公表する予定です。

高齢者福祉

**問** 複雑かつ多岐にわたる高齢者のニーズをどのように把握し、次期高齢者プランに反映させるのですか。

**答** 今年度、一般高齢者および軽度の要介護認定者を対象とする日常生活圏域ニーズ調査を実施し、圏域ごとに高齢者の要介護リスクや日常生活上の課題を把握し、同プラン策定の基礎資料とすることになっています。また、介護サービスの必要量について、給付実績や利用状況の分析により把握するほか、特別養護老人ホームなどの入所待機者調査を実施します。さらに、地域包括支援センター等を通じた地域の高齢者や家族の実態把握などに努めることとしています。このような過程で把握した高齢者のニーズと実情を整理・分析するとともに、保険料等の利用者の負担を勘案しつつ、今後の国の動向等も注視しながら、本市にふさわしいプランとなるよう取り組んでいきます。

秋水会  
佐藤 宏悦

◇まちづくり◇防災行政◇観光振興◇保育行政◇エダマメ栽培◇市道の維持管理◇スポーツ少年団及び運動部の活動◇地域の諸課題

県・市連携文化施設

**問** 同施設の駐車場については、利用者の目線で整備することが必要だと思いますが、これまでの意見や要望をどう認識し、整備計画にはどのように取り入れるのですか。

**答** 意見交換会等において、一定規模の駐車スペース確保に関する意見があったことから、建設候補地内の駐車スペースと併せ、近隣の駐車場確保について対応案を検討しています。今後、8月に意見交換会、その後、パブリックコメントを実施する予定であり、寄せられた意見を参考にしながら駐車場確保の考えを明らかにしていきたいと考えています。

上北手地区コミュニティセンター

**問** 現在の同センターの施設は、時代に合わなくなっていると思えますがどうですか。

**答** 同センターは、平成3年度建設のため、バリアフリー化されていないこと、また、当初地域センターとして整備されたため、現在の利用者ニーズに十分対応できていない等の課題があることは認識しています。本市の既存コミュニティセンターは、築後30年をめぐりに大規模改修等を行い、利用者の安全性と利便性を向上させることとしており、同センターについても、全体の整備計画の中で整備時期や内容を検討していきます。



上北手地区コミュニティセンター

議会の動き

5月16日 議会運営委員会  
各派会長会議  
6月6日 議会運営委員会  
9日 6月定例会（7月1日まで）

7月1日 教育産業委員会（閉会中）  
各派会長会議  
編集委員会  
14日 編集委員会

7月25日 編集委員会  
8月2日 総務委員会（閉会中）  
5日 議会運営委員会

# 一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。



**問** 統合医療のまち「あきた」を目指してはどうですか。

**答** 統合医療は、近代西洋医学と補完・代替療法等を組み合わせる療法で、医師の主導で行うものです。国では、療法を適切に選択できるよう、情報の見極め方について紹介しています。が、安全性や有効性に関する科学的知見等は研究中であり、本市は、国の動向を注視していきます。今後「第2次健康あきた市21」に基づき、市民の健康を社会全体で支え、守るためのまちづくりを推進します。

## 健康なまちづくり

◇県市連携◇泉・外旭川新駅(仮称) ◇外旭川地区大型複合商業施設構想◇健康なまちづくり◇平和祈念◇北部地域の課題

秋水会  
菅原 琢哉

## 外旭川地区大型複合商業施設構想

**問** 本市の将来に寄与するように、同構想をテーパーに上げるべきではありませんか。

**答** 昨年度と同構想の検証において、雇用創出等のメリットがある一方、中長期的には、商業施設規模の過剰により、既存商業施設が衰退した場合、身近な生活圏での商業環境の悪化が考えられるほか、市街地へのインフラ投資の効果が薄くなるおそれがあります。それにより、市全体としてのメリットは小さいものと考えられ、現時点では、将来の発展に寄与するものではないと判断しています。また、同構想の計画地は市街化調整区域であり、コンパクトな市街地形成というまちづくりの方向性とは相いれないものであり、本市から特段の提案をする考えはありません。



## 政務活動費の使い道を公開しています

政務活動費は、市議会議員が市政に役立つ調査研究をするために必要な経費の一部として、市から市議会の会派に交付されています。金額は、議員一人につき月額10万円で、年度ごとに精算し、残余金がある場合は市に返還されます。また、平成22年度以降の政務活動費収支報告書(平成25年度から政務調査費から政務活動費に名称が変更)は、領収書等も含めて公開しています。閲覧を希望する方は、議会事務局総務課(電話 888-5782)までお問い合わせください。

### 平成27年度(6月以降交付分) 政務活動費科目別収支状況

(金額単位:円)

項目	秋水会	そうせい	市民クラブ	公明党 秋田市議会	フロンティア 秋田	社会・市民 連合	日本共産党 秋田市議会 議員団	合計	
所属議員数	16人	6人	4人	4人	4人	3人	2人	39人	
収入	交付額	16,000,000	6,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	3,000,000	2,000,000	39,000,000
	預金利子	698	215	12	45	36	188	103	1,297
	会派繰入金	0	0	80,301	0	202,631	0	0	282,932
	収入合計	16,000,698	6,000,215	4,080,313	4,000,045	4,202,667	3,000,188	2,000,103	39,284,229
支出	研究研修費	3,598,254	1,196,587	416,276	1,026,435	395,281	199,948	215,977	7,048,758
	調査活動費	3,480,736	1,345,520	935,360	697,092	1,236,188	358,035	2,700	8,055,631
	資料作成費	1,605,704	544,329	542,042	496,392	108,974	254,880	119,767	3,672,088
	資料購入費	1,160,254	309,562	609,012	457,114	301,001	404,232	144,417	3,385,592
	広報費	1,741,730	2,194,015	1,215,424	946,534	1,515,569	330,965	589,970	8,534,207
	広聴費	0	46,167	2,300	0	9,200	7,000	4,600	69,267
	人件費	436,560	0	0	0	17,600	53,850	467,960	975,970
	事務所費	70,498	0	0	0	43,434	0	24,300	138,232
	事務費	1,417,315	266,706	359,887	358,023	575,384	518,264	272,393	3,767,972
	支出合計	13,511,051	5,902,886	4,080,301	3,981,590	4,202,631	2,127,174	1,842,084	35,647,717
残余金	2,489,647	97,329	12	18,455	36	873,014	158,019	3,636,512	

※平成27年5月改選後、会派結成日から平成28年3月31日までの収支状況です。

常任委員会および予算決算委員会分科会での主な質疑応答です。

総務委員会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

**委員** 土崎まちづくり拠点施設は、その名称からまちのにぎわい創出や地域の活性化につなげたいという思いが感じられますが、どのような方が訪れると想定していますか。

厚生委員会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

**委員** 秋田市河辺岩見温泉交流センターについて、指定管理者の運営により経営状態が赤字になった場合の責任の所在はどこになりますか。

予算決算委員会  
教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

**委員** 肉用牛生産拡大支援事業について、建物配置の見直しなど当初想定し得なかった事態が事業費の掛かり増しとなり、追加補正となりましたが、早い段階から見通せなかったのですか。

予算決算委員会  
建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

**委員** 空き家活用推進調査経費については、空き家所有者への意向調査を行うとのことですが、具体的にどのような意向を調査するのですか。



土崎まちづくり拠点施設  
(完成予想図)

**企画財政部** 土崎まちづくり拠点施設は、地域のまちづくりを担う人材育成の場として、土崎空襲の被爆体験や土崎港曳山まつりの山車の組み立て等を若い人たちに伝承・継承させること、また、土崎の歴史と文化を学ぶ場として、土崎地区の小中学生の総合学習などで利用することなどを想定しており、地域の方にもとより市内外を問わずたくさんの方々に来ていただければと考えています。



河辺岩見温泉交流センター  
(完成予想図)

**市民生活部** 経営についての責任は、指定管理者である河辺岩見温泉交流センター管理運営協議会にあると考えます。本市に責任がないわけではありませんが、同協議会に対して、自主事業を企画して誘客に取り組むなど、経営努力をすべく指導していきたいと考えています。



**産業振興部** 当初予定していた建設予定地の地権者とは土地の賃貸という形での話を進めていましたが、交渉段階で施設建設が困難となったため、別の土地を探すことになり、さまざまな交渉の末、今回の土地にたどり着いたものです。さらに、当該土地の一部が軟弱地盤であることが、平成27年度末に判明したため、建物配置の見直しが必要となったものです。



**都市整備部** 今回実施する意向調査については、空き家バンク制度への登録希望者の掘り起こしを目的とするものであることから、同制度を周知する絶好の機会ととらえ、制度の紹介を行いながら、空き家所有者の登録希望の有無を確認するものです。同時に、空き家の利活用に関する意見や悩み事などの把握も調査の目的としていることから、調査結果を今後の検討に生かしていきたいと考えています。

9月定例会のお知らせ(予定)

■日程■

9月2日 本会議  
13日～15日 本会議「一般質問」  
16、20、21、26日 常任委員会・分科会  
28日 本会議、常任委員会  
9月29日～10月3日 分科会(土日除く)  
10月5日 常任委員会  
7日 本会議

■一般質問予定者■

工藤四郎、熊谷重隆、伊藤一榮、細川信二(秋水会)  
武内伸文(そうせい)  
安井誠悦(市民クラブ)  
武田正子(公明党)  
倉田芳浩(フロンティア秋田)  
長澤孝政(社会・市民連合)

今回のあきた市議会だよりは平成28年11月18日発行予定です。



※秋田市議会では、本会議、常任委員会、分科会などの傍聴ができます。日程および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。

